

たぐみ

T A K U M I

No.020

平成18年9月●初秋号

信州名匠会

(題字：故 池田三四郎 前名誉会長)

平成18年度総会開催 信州名匠会の存在を地元へ、 全国へ伝えたい

● 建築士法の建築士資格見直しに大反対

信州名匠会（宮本忠長会長）は7月6日、長野市のメルパルクNAGANOで第14回通常総会を開き、平成17年度事業報告、18年度事業計画などを承認しました。



あいさつする降旗副会長

役員人事（任期2年）は、現役員全員の再任と、副会長・理事・事務局長各1名の選任を可決しました。新任は、副会長・井内猛男氏（㈱井内工務店）、理事・西澤嘉雄氏（有工又設計）、事務局長・西沢広智氏（㈱宮本忠長建築設計事務所）です。

宮本会長は「他県でも名匠会と同様の組織をつくりたいとの話を良く聞く。しかし、できるだけできない。会の存在を、地元や全国に伝えていきましょう」と話し、「県内の技術者には、人間関係の温かさ



48名（懇親会には38名）が出席して開かれた総会

がある」と会員を讃えました。

また、耐震偽装事件などを受けて、建築士資格取得者の再試験が検討されていることに触れ「国家資格を簡単に変えていいわけがなく、大きな社会問題になる。大反対していく」との姿勢を示しました。

総会後には、善光寺臈僧・鏡善坊住職の若麻績修英師が講演。「善光寺境内の構築物」を演題に、参道敷石が長野市の文化財に指定されたいきさつや、駒返橋周辺の環境整備事業などを説明しました。会員たちは、昔から善光寺で活躍してきた先人の職人たちの仕事と、それを支えてきた善男善女に思いをさせていました。



講演する若麻績修英師。「参道の敷石は長野市西部・西山地区、郷路山産の安山岩」「1714年、江戸の大竹屋平兵衛個人によって善光寺に奉納された」など、出席者は興味深く拝聴していました。



宮本会長から10ツ星の認定証を受ける五明良平氏（右）

■(財)吉岡文庫育英会より本年度も研究補助金20万円

新建築社・吉田義男会長（信州名匠会顧問）が理事長を務める財団法人吉岡文庫育英会より本年も「研究補助金」として20万円が給付されました。給付は8回目、総額170万円に。名匠会では育英会のご厚意と補助金の趣旨が未永く反映されるような活用方法を検討しております。心より感謝を申し上げます。

■十三ツ星1名、十二ツ星1名など21名の新認定者が誕生

～スリースター制度規認定者紹介～

「スリースター制度」は、月1回の定例研修会に熱心に参加している会員の努力をたがいに認めあい、その誇りを励みに日々の仕事を高めあおうと、平成11年に創設されました。研修会へ1回出席するごとに1単位を加算し、10単位で星1つを与えます。発足から7年を経て、今年度は十三ツ星認定者1名をはじめ一ツ星までの新規認定者21名が誕生し、通常総会において認定証を授与されました。貴重な研さんの場である定例研修会への、会員諸氏の精力的な参加に、ますます期待が高まっています。

◆「スリースター制度」平成17年度認定者

（平成18年6月現在、五十音順、敬称略。○は今年度の新規認定書授与者）

☆☆☆☆☆☆☆☆認定者（十三ツ星1名）
○西澤嘉雄／(株)宮本忠長建築設計事務所

☆☆☆☆☆☆☆☆認定者（十二ツ星1名）
○坂田守夫／坂田工業(株)

☆☆☆☆☆☆☆☆認定者（十一ツ星1名）
○堀誠／建築工房アカシヤ

☆☆☆☆☆☆☆☆認定者（十ツ星1名）
○五明良平／(株)五明

☆☆☆☆☆☆☆☆認定者
（九ツ星 本年度認定者なし）

☆☆☆☆☆☆☆☆認定者（八ツ星2名）
○中村光敬／(有)中村木工所
○岸本貴志／(株)本久

☆☆☆☆☆☆☆☆認定者（七ツ星1名）
○宮下恒夫／サンコー特機(株)

☆☆☆☆☆☆☆☆認定者（六ツ星5名）
○吉田雅彦／(有)スタジオスペースツー
○宮本忠長／(株)宮本忠長建築設計事務所
高梨廣男／(有)高梨建築

水沢仁亮／(株)二見屋
西宮登喜男／(株)綿内瓦工業

☆☆☆☆認定者（五ツ星6名）
○樋口豊／(株)ライフエンジニアリング
○山本耕平／長野サウナ販売(株)
○高木茂実／松田産業(株)
鈴木隆／ルームデザインハウス
伊藤章／(有)アキ・プランニング
小川明／建築工房空

☆☆☆☆認定者（四ツ星6名）
○増田幸雄／匠建設(株)
宮澤郁夫／宮澤建築
竹内公夫／(株)ビホームテクノクリエート
渡辺昌祺／渡辺硝子建材(株)
鎌倉良収／(株)鎌倉材木店
町田幸一／(株)町田電機商会

☆☆☆☆認定者（三ツ星9名）
○岩井秀樹／岩井工業(株)
○大庭修／(株)トライアン
宮川裕行／三ツ友建築企画
池内信二／(株)山翠舎
久保敏幸／(株)さつき苑
○海野政也／(株)海野鉄筋工業所

倉橋英太郎／
(株)倉橋英太郎建築設計事務所
大井芳也／(株)山二
岡澤元彰／(株)本久

☆☆認定者（二ツ星 15名）
山崎慎一郎／(有)山崎屋木工製作所
○荒井和夫／(株)荒井造園
○内山保／朝陽工芸(有)
○中村泉／(有)ビーイング
高波和由／キャスト(株)
矢島建二／(株)矢島工務店
山田一忠／インテリア販売ヤマダ
○藤沢和裕／(株)山二
山崎邦男／山崎工務店
田幸康信／(株)電弘
藤森吉三／(株)藤森鉄平石
佐藤満博／(株)二見屋
溝端利一／MEデザイン室
関克弘／坂田工業(株)
山中製炭／山中桐箱店

☆認定者（一ツ星 16名）
五十嵐厚生／(株)井内工務店
前島浅男／大工
○犬飼栄治／(株)シナノ大理石
塚田廣実／塚田住建
鳥羽英夫／長野サウナ販売(株)
松下重雄／(有)みずぎ設計
小林清英／(株)清蘭堂
東出輝彦／スタンドグラス作家
村越久子／雪しろ窯
左右田光／インテック左右田
降幡廣信／(株)降幡建築設計事務所
柳沢邦夫／(有)柳沢木工所
坂戸雄世／(有)サカト産業
太田光雄／(株)岩野商会
出澤潔／出澤潔建築設計事務所
常田亀久夫／(株)菅平土建

平成18年度 信州名匠会 年間スケジュール

A:学習 B:見学・実習 C:交流

平成18年

7月6日(木) 通常総会・講演会・懇親会
7月27日(火) 第1回研修会「宮本会長のおはなし」A
8月22～23日(火、水) 研修旅行「佐渡の建築見学」A、B、C
9月6日(水) 親睦ゴルフ大会 C
9月27日(水) 第2回研修会「研究会(信州の建築材料)」A
10月25日(水) 第3回研修会「日本刀の魅力」A
11月25日(土) 第4回研修会「現場見学会」B
12月20日(水) 第5回研修会「研究会」A

平成19年

1月24日(水) 新年会 C
2月28日(水) 第6回研修会「技術講習会」B
3月28日(水) 第7回研修会「降幡副会長のおはなし」A
4月28日(土) 第8回研修会「制作教室」B、C
5月30日(水) 第9回研修会「現場見学」B
6月20日(水) 平成19年度 通常総会

* 研修会 場所:長野会場(株)宮本忠長建築設計事務所 松本会場(株)降幡建築設計事務所 時間:18:30～20:30

* 研修内容・場所・日時については変更もあります。

平成17年度 信州名匠会 事業報告 (人数は参加者)

平成17年

- 7月6日(水)「たくみ」018 初夏号 発行
- 7月7日(木) 第13回通常総会・講演会・懇親会
- 7月28日(木) OKA ATELIER PROJECT説明会実施
- 8月8日(月) OKA ATELIER PROJECT見積書提出
- 8月18日(木) 発注者(岡 正子氏)へ内容説明
- 8月23日(火) 事業不調となる
- 8月24日(水) 第1回研修会「木材の基礎知識」 27名
- 9月21日(水) 親睦ゴルフ大会(信濃ゴルフ倶楽部) 9名
- 10月1日(土) 第2回研修会「坂木宿 ふるさと歴史館見学会」26名

- 10月15日(土) 第3回研修会「WAKITA MUSEUM OF ART 建築ワークショップVol.2」 15名
- 12月27日(火) 忘年会 至四川楼 36名

平成18年

- 1月27日(金) 新年会 至四川楼 23名
- 1月31日(火)「たくみ」019 新春号 発行
- 2月26日(日) 第6回研修会「『原町商いの歴史展』見学」 19名
- 3月29日(水) 第7回研修会「家具の基礎知識」 17名
- 4月29日(土) 第8回研修会「陶芸教室」 24名

会員の動向 (平成17年7月から平成18年6月) (氏名・会社名・職種・住所の順、敬称略)

- 【入会】(個人会員) 西澤嘉雄・(有)エヌ設計・建築設計・〒381-2225 長野市篠ノ井岡田202-1
- 【変更】(個人会員) 涌井昭一・草匠苑((株)さつき苑より独立)・造園職人 〒381-0201 上高井郡小布施町小布施561-4
 (賛助会員) 故井内八雄 → 井内猛男・(株)井内工務店・型枠工事/山崎博之 → 平林 幹久・(株)INAX長野営業所・衛生陶器・タイル
 (事務局) 神主英子 → 太田達也・(株)新建新聞社
- 【退会】(個人会員) 平沢真司・平沢塗芸店・塗装職人・〒390-0814 松本市本庄2-5-19/上別府志郎・石材彫刻家・〒389-0406 東御市八重原2470-5/飯泉勝司・(有)エスピー飯泉・左官工事・〒382-0033 須坂市亀倉105-4/宮崎三雄・(有)アルファ測量設計
 測量設計・〒389-1105 長野市豊野町豊野482-56/山岸博行・山岸紙器製作所・紙器製作・〒381-0045 長野市桐原2-5-5
 (賛助会員) 長崎暢夫・(有)長崎工務店・建築工事・〒399-8202 安曇野市豊科光1612

会員にきく
「たくみの仕事」Vol.13

写真とデザインの二人三脚で 斬新なアイデアを提案

(有)スタジオ・スペースツー(長野市中御所) 代表取締役 吉田雅彦さん

昭和30(1955)年2月9日生まれ(51歳)。妻と娘さんと3人で長野市に暮らす。大学生の息子さんは一人暮らし中。趣味は読書とゴルフ。ミステリーと時代物の小説が特にお気に入りだ。



納得できる写真が撮れるまで、何度も足を運ぶという吉田雅彦さん

一枚の写真で人の目を釘付けにする写真家、吉田雅彦さん。自ら代表取締役を務める(有)スタジオ・スペースツーでは、デザイナーで旧知の仲の酒井宏さんとともに、斬新な発想で顧客の心をつかみ離さない。特に建築写真は高く評価され、設計士や工務店からの依頼は絶えない。

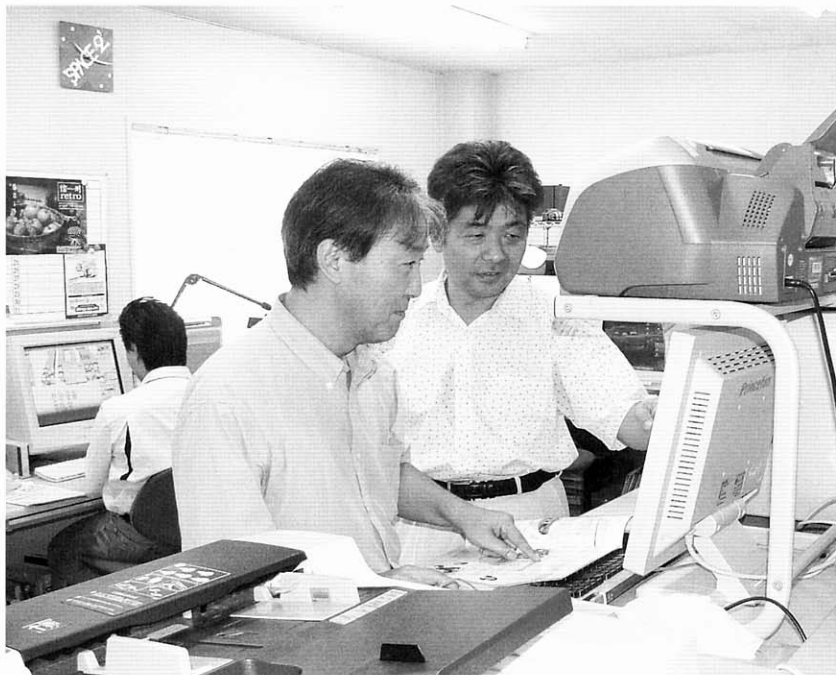
小さい頃から絵を描くことが好きで、「デザイナーになりたかった」と話す吉田さん。しかし、専門学校には通わず、画材店で働いた経験をもつ苦労人だ。転職は、24歳に入ったデザイン会社で訪れる。

カメラアシスタント兼運転手としてサラリーマン生活を始めて半年、撮影を担当していたチーフカメラマンが倒れ入院した。しかし、撮影の予定は変えられない。自分以外に代役がおらず、カメラのシャッターを切ることになったという。当時は現場で組み立てて使う大型カメラが主流。組み立ても撮影も手順が複雑だった。撮影の前には大型カメラを自宅に持ち帰り、何度も手順を確認し体に覚え込ませた。

そのままカメラマンとして、独学で勉強しながら数多くのシャッターを切った。「場数を踏んで、がむしゃらにシャッターを切った当時の経験が、カメラマンとしてのベースとなっている」と吉田さんは振り返る。

同僚だった酒井さんと新しい会社(現スペースツー)を立ち上げ、29歳で独立。写真は吉田さん、デザインは酒井さんとそれぞれの得意分野をお互いに高め合いながら、少しずつ顧客の輪を広げた。創業から22年。「主張をぶつけ合うことはあっても、仲違いすることはなかった」と話す吉田さん。お互いの領域を見極め、尊重し合う絶妙な距離感は、この二人ならではのものだ。

吉田さんは「フレームで被写体の一瞬の表情を切り取りデザインする仕事」と自らの仕事を語る。撮影の前の下見では、被写体をレンズ越しには覗かず、本番の撮影で初めてレンズを覗く。「予想とは違う見え方をすることもあるが、その緊張感が大切」。被写体の表情は、その時の太陽の射す角度や向きで一秒ごとに変わる。例え動かない建築物であっても、シャッターチャンスは一瞬。納得できる写真が撮れなければ後日出直すこともある。「お客さんが自分でも気づかないような被写体の良さを写真に切り取る。その時に喜んでくれるお客さんの笑顔が励みになる」。



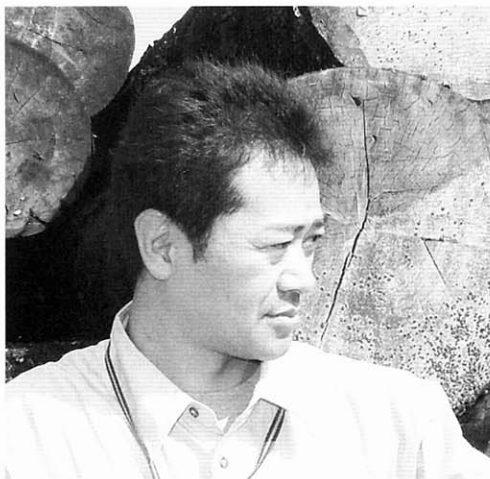
創業以来、互いに尊重しあい、絶妙な関係を続ける酒井宏さんと打ち合わせ。「ほとんど打ち合わせをしなくても、お互いの考えていることがわかります」

会員にきく
「たくみの仕事」Vol.14

材木のプロがつくる木造住宅の魅力 将来を見据え職人育成

(株) 鎌倉材木店 (長野市南長池) 常務取締役 鎌倉良収^{よしかず}さん

昭和36(1961)年12月4日生まれ(44歳)。妻と息子さん、娘さんの4人で長野市に暮らす。家族で行く温泉旅行が楽しみ。今年から本気でゴルフの練習を始めた。仕事のあとや休日はレッスンに通い、腕を磨いている。



真剣に木材を見つめる鎌倉良収さん

製材会社として創業60年を迎えた(株)鎌倉材木店。わずか17歳で家業を継ぎ、鎌倉材木店を創業した鎌倉寛雄さん(代表取締役)を3人の息子さん達が支える。その一人が二男の良収さん。住宅部門の現場責任者として、毎日いくつもの現場を回る。先を見据え、会社の将来を語る姿は実に頼もしい。

父の背中を見て育った幼少時代。「父は山ひとつを丸ごと買う山師だった」と振り返る。山をじっと見つめ、周辺環境や木々の枝ぶり、伐採や搬出にかかる手間や費用などを判断する父の姿は今でも目に焼きついている。購入した山の状態次第で、購入金の10倍にも10分の1にもなる仕事。まさに「カケ」に思えたという。

そんな父の目利きの腕はしっかりと受け継がれている。直径1m、長さ10m以上の丸太がカナダやアラスカなど世界中から集まる名古屋港へ、良収さんも買いつけに行く。製材部門の顧客(家具・建具業)のほとんどが丸太のまま購入する。製材したら外見ほど材質が良くなかった、といった目

利きの失敗は、そのまま会社の評判を落とすことにつながる。

地域に根ざした製材会社として発展してきた鎌倉材木店だが、現在の経営を支えているのは紛れもなく住宅建築の分野で、売り上げの8割を占めるほどにまで成長した。

木材価格の低迷とともに、住宅建築へのシフトを始めた同社。良収さんは、流行のローコスト住宅なども研究した。「徹底的に調べて行き着いたのは、『安い』ということはずなわち『木材を使わないこと』でした。流行に惑わされるのではなく、製材業を営む鎌倉木材にしかできない強みを生かし、鎌倉にしかできない木造の家を造ろうと、腹を決めました」と話す。丸太を建築用材として無駄なく使い、ロスを無くす。建具には使わない材を有効に活用する。製材から着工、そしてリフォームまでの一貫体制がウリだ。

鎌倉材木店の建築工期は半年ほど。工期3カ月と早さをウリにする住宅会社とは一線を引く。それでも年30棟を新築し、数多くのリフォーム工事を受注する。確かな品質の木材を使い、材を知り尽くした職人の丹念な仕事が受け入れられている。

職人の息子達などを積極的に使い、後継者の育成にも力を入れる。「10年~20年先を見たとき、手間をかけ昔ながらの木造住宅を造る会社はほとんどいなくなる。もちろん職人も少なくなり、おのずと存在価値は高まる」と話す良収さん。先を見据え、少しずつ進める差別化。20年後の鎌倉材木店を見てみたい。



創業者で代表取締役の父寛雄(左)さんと。寛雄さんは77歳になった今でもアラスカやカナダに木材の買いつけに行く。

定例研修会●Report

(平成17年12月～平成18年4月)

平成17年度 第4回研修会 「忘年会」

平成17年12月27日、
ホテルJALシティ長野
「四川楼」(長野市)に
て、参加者36名



平成17年度 第5回研修会 「新年会」

平成18年1月27日、ホテルJALシ
ティ長野「四川楼」(長野市)にて、
参加者23名

平成17年度第6回研修会 「原町商いの歴史展見学会 名工 諏訪立川流を知る」

平成18年2月26日 参加者：19名

池波正太郎真田太平記館(上田
市)の「原町商いの歴史」展で公開
された、諏訪立川流・立川和四郎富
昌の手による、原町市神社の原寸
大設計図の見学を行いました。



原寸大設計図を見る会員たち

諏訪立川流は、初代富棟から四
代にわたり、京都から江戸まで広く活躍した大工集団です。代表的な建築には、諏訪大社上社本宮幣殿・拜殿、下社秋宮幣殿・拜殿、静岡市浅間神社本殿・諸建築、善光寺大勧進表門などがあります。

展示会場では原寸大設計図を見ながら、「現在ならどの位の工期と費用がかかるか」「今これを設計できる設計者がいるか」など、参加者は図面から当時の優れた技術を垣間見る機会となりました。

原町は上田城築城の際、真田氏がふるさとの原之郷(現・上田市真田町本原)の人々を移住させてできた町で、町の繁栄と商売繁盛を祈念して市神社が祀られ、上田城下の経済活動の拠点として栄えました。原町市神社は天正年間に勧請したと伝えられ、1840年に遷宮再建を当時名工として全国でその腕を振るっていた諏訪の立川流の二代・立川和四郎富昌によって行われました。



立川富昌の手による正面図



現在の原町市神

市神社は現在も、商いの神様として恵比須講、夏越の祓など庶民の暮らしに根づいた商業活動の一役を担い、地元原町の人々によって守り続けられています。

平成17年度第7回研修会 「家具の基礎知識」

平成18年3月29日 参加者：17名
講師：ルームデザインハウス代表 鈴木隆氏(長野市、個人会員)

鈴木氏は木工会社・建材会社の設計・製造部門で経験を積んだのちに独立。昭和60(1985)年にルームデザインハウスを創業。特注家具を中心に既製家具、小木工品のデザインから製造・販売を行っています。



資料を用意され、イラストをホワイトボードに描きながら話していただきました。

まず、日本古来のたんすに代表される和家具と洋風のチェストやキャビネットなど、様々な種類をご紹介いただきました。家具に用いる木材については、広葉樹、針葉樹の各樹種を家具に適したもの、樹種により適した家具の種別、また樹種それぞれの特徴について、建築大工とは違った家具職人の視点からお話しされました。

家具の製造工程については、配られた資料にある工程表をもとに、製作手順を追いながら、また各工程に関連する詳細な部材名称を、イラストを交えながら紹介されました。

鈴木氏は、注文家具に取り組むとき、まず施主の意図とイメージを満足する製品にすべく、材料の選択から詰めていくそうです。その時に生きるのが、20代から10数年間の木工会社・建材会社で培った設計と製造の知識だと言います。注文家具であるからこそ使用する環境やライフスタイルまで十分に取り入れた、この世



「ネコ足」の宝飾棚。美しい曲線には、卓越した技術とセンスが要求されます。コッピングマシンと呼ばれる専用工作機械を用いて加工します。(信州名匠会発行「信州職人名鑑たくみ」より)

に一つしかない家具を作り、使い手に喜んでもらいたいと、語られました。

鈴木氏には「家具について会員にもっと知ってもらいたい」と自ら進んで、研修会の講師をお引受けいただき、会員の質問に熱意と誠意を込めてお答えいただきました。

平成17年度第8回研修会 「雪しろ窯 陶芸教室」

平成18年4月29日 参加者：24名
講師：村越久子氏(上田市武石、雪しろ窯主宰、信州名匠会理事)

村越久子氏(創造学園大学芸術学部教授)のご指導のもと、「雪しろ窯」にて恒例の陶芸教室が開かれました。今回はご家族での参加もあり、お子さんを交えて和やかな雰囲気の中、制作に打ち込みました。常連の参加者は総会での展示を意識した大作を仕上げていました。

7月6日の総会会場では、参加者の作品が展示されました。今年も傑作には「宮本会長賞」、「村越久子賞」などそれぞれ賞が贈られました(敬称略)



会員や家族の陶芸作品が並んだアートギャラリー



村越氏(左)のご指導をいただいで作品を仕上げる参加者たち

○宮本会長賞 宮澤 千恵子/宮澤建築
○村越賞 西澤 嘉雄/(有)エヌ設計
○吉田賞 坂田守夫/坂田工業(株)
○東賞 西宮登喜男/(株)綿内瓦工業
○市川賞 堀光子/建築工房アカシア
○降旗副会長賞 中村光敬/(有)中村木工所
○審査員特別賞 宮澤郁夫/宮澤建築
○審査員特別賞 藤田勇/藤田建築